

特別支援教育新聞 第2号

岩代中学校 特別支援教育コーディネーター佐藤



ご家庭で、こんな様子は見られませんか？

- ・ 朝の支度に、とても時間がかかる。
 - ・ 家の中で、静かに過ごすことができない。
 - ・ 食べ物の好き嫌いが激しい。
 - ・ 不器用で、折り紙を折ったり、紙を切ったりすることが苦手である。
 - ・ 自分が好きだと思ふことしかやらない。
 - ・ 指示が聞き取れず（理解することができず）、行動に移すことができない。
 - ・ 友だちとすぐにけんかになってしまう。
- など

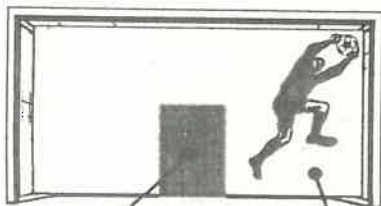


上記のようなことが思い当たる…という場合は、お子さんは、集団生活の中でつらいと感じているかもしれません。なるべく早く、「困り感」に気付いてあげることが大切です。ストレスを少しでも軽減し、無気力、不安や怒り、キレやすくなるといった二次的な障害を生じさせないように、支援していきたいと思います。支援する時期が早い方が、子ども自身が自信を失うことなく学校生活を送ることができます。

本校では、今月学級担任と生徒の二者相談があります。子どもたちには、悩んでいることがありましたら、気軽に相談してほしいと思いますので、ぜひご家庭で話題にいただき、話し合ってください。悩みは自分だけで抱え込まないようにしてください。子どもたちのよりよい成長を、ぜひみんなで応援していきましょう。



子ども理解の守備範囲を広げ、対応力を高めよう



守備範囲が狭いままだと…

- 子どもの言動のちょっとしたことが許せない
- 対応できないのを子どものせいにする

守備範囲が広がると…

- 子どものちょっとした成長に気づけて嬉しくなる
- 対応できないときに自分を磨き、次は対応しようとする

心に住む『3つのタイ』

- 1 誉められタイ
- 2 認められタイ
- 3 頼りにされタイ

「ありがとう」と言われる場面や「頼もしい」と思われる役割が大切ですね。